



御田小 研究だより

平成28年12月20日
港区立御田小学校
校長 三浦 和志

第5回研究授業報告

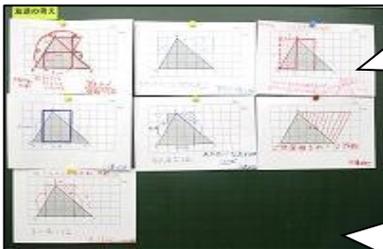
12月12日(月) 5校時 5年
授業者 古屋 博大 染谷 知佳
高田 悠平 六本木 友樹

<算数> 単元名「面積の求め方を考えよう」

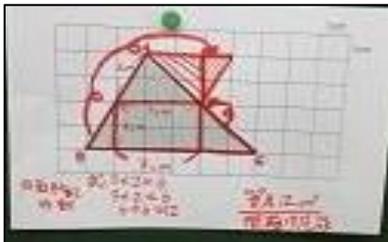
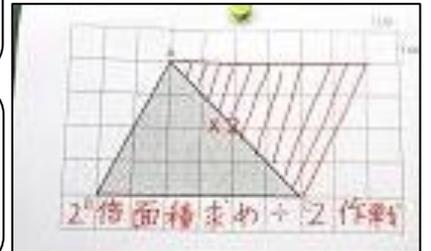
<単元でねらっていること>

○平行四辺形、三角形、台形、ひし形などの面積の求め方を理解し、公式をつくり出してそれらの面積を計算で求めることができるようにする。

【ユニバーサルデザイン化の視点から】

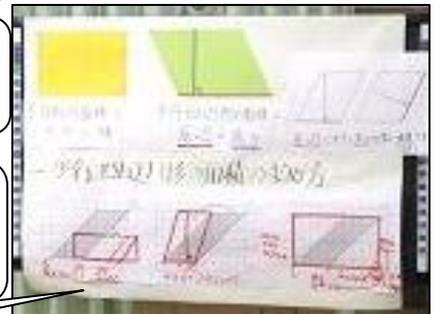


本時のねらいから授業の山場を決め、「めあて」を「どうすれば面積を求めることができるだろうか」と設定し、本時の流れを考えました。(焦点化)



求積方法の共通点が視覚的に分かるように拡大した方眼紙に自分の考えを色分けして分かりやすく表現しました。(視覚化)

考え出した自分のアイデアにはネーミングし、友達に伝わるよう工夫しました。



どのように変形したか分かるように補助線や矢印を図に書き込むことで、考えを「見える化」しました。(視覚化)

「長方形の面積の求め方」や「平行四辺形の面積の求め方」などを掲示することで、これまでに学習したことを振り返ったり、生かしたりすることができました。(視覚化)



ペアやトリオ、グループで自分の考えを発表し合う活動を取り入れることで、友達の考えと比べたり、自分の考えを深めたりすることができました。(共有化)

<授業を終えて>

どの児童も意欲的に学習に取り組む姿が見られました。特に、図形をどのように変形したか分かるように、方眼紙に補助線や矢印を図に書き込む考えを「見える化」する活動では、自分の考えにネーミングするのを楽しんだり、積極的に自分の考えと友達の考えを比べたりする様子が見られました。引き続き、児童が楽しく学習に取り組める活動、理解が深まる活動を工夫し、指導していきます。